

龍王山 山の辺の道から仰ぎ見る青垣の山々では一番高い。柿本人麻呂の国歌「奈道」を手引の山に妹を置いて山路を行けば生けりともなしに詠まれた「引手の山」はこの龍王山といわれる。龍王山が2つあり、雨乞い信仰の祠。また山頂の南城跡には、フィールドアスレチック風見晴台がある。

龍王山城跡 中世の豪族、十市氏が築いた大和を代表する山城の跡。天文年間(1532~55年)十市遠忠が拠を構え、十市城とも呼ぶ。のち松永氏・秋山氏が入城、織田信長により廃された。山で、本丸・堅堀・石垣などの遺構があるいと残る。奈良盆地と大和高原を結ぶ要衝の地にあり、城跡から奈良盆地や金剛生駒連山を眺めると、中世の武将気分がひたれそう。

龍王山古墳群 龍王山の西斜面、標高150~450mに点在する古墳群。円墳と横穴がそれぞれ300基、あわせて600基に及ぶ。珍しいのは横穴で、崖や山腹など自然地形をそのまま利用している。植林内に点在し、さながらお墓の団地のよう。6世紀~8世紀にかけての古墳といわれるが、調査はほとんど行われず、謎の眠りに付いている。

ジャンジャン火伝説 信貴山の松永氏に滅ぼされた十市氏の怨霊が火の玉になったという伝説。龍王山から飛び出た火の玉が村人たちを震えあがらせたという。現れるのは今にも雨が降りそうな夏の夜、見たり叫んだりすると襲われるとか。

長岳寺 「釜口のお大師さん」とよび親しまれている。阿彌陀三尊像・鐘樓門・庫裡などの重要文化財や石仏が多い。龍王山頂近くに長岳寺奥の院と呼ばれるところがあり、若々しい表情をした肉厚の不動明王(鎌倉時代作)と石像がひっそりたたずむ。

黒塚古墳 古墳時代中期に築造されたと推定される、全長130mの前方後円墳。中世から近世にかけては柳本城の一部に利用されたこともある。1998(平成10)年に三角縁神獣鏡3面ほかが出土して話題を集めている。

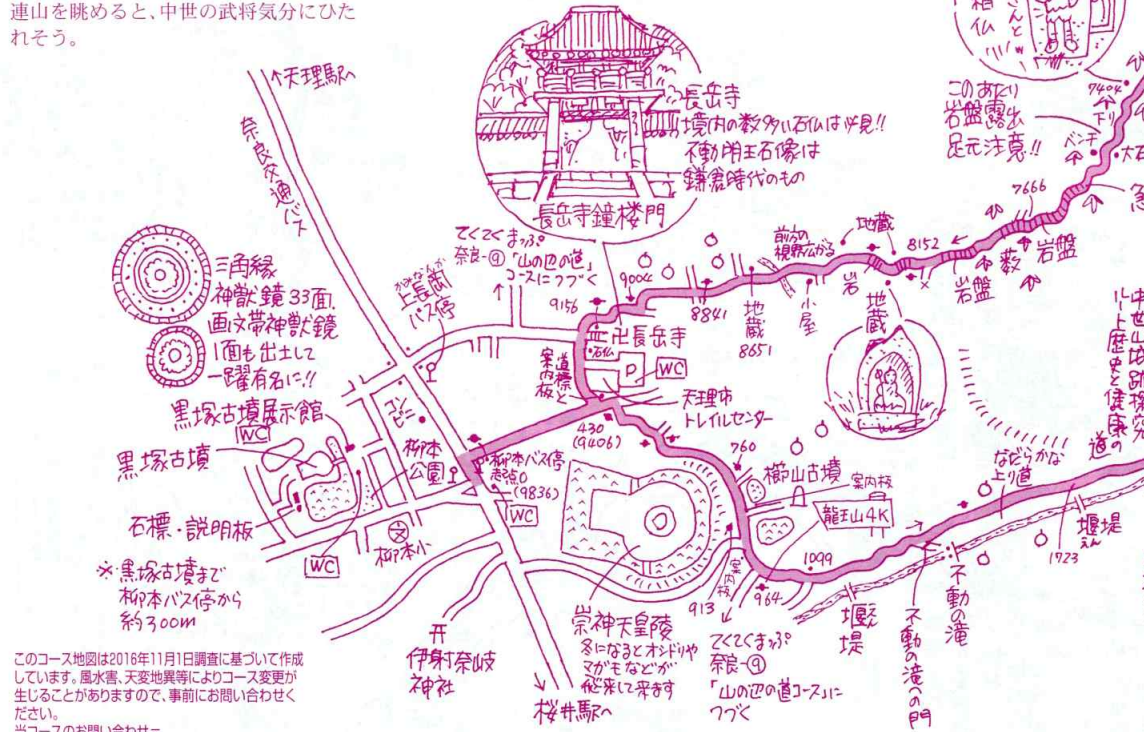


コースのあらまし 柳本バス停付近から龍王山へは、緩傾斜で距離が長めの南回りルートと、短距離だが急坂の北側ルート。本コースは南から登って北側へ下る。行燈山古墳(崇神陵)の東側を回り込んで谷筋に入り、龍王山古墳群などをみつつ登る。長岳寺奥の院への分岐を過ぎると、尾根筋に。幅約5mの舗装林道で、南北龍王山城跡への道や北ルートが出合う場所。標高586mの南城跡、521mの北城跡へは、ここから往復。北ルートを下り、岩肌が露出する急坂から、路傍に石仏などが見えはじめると、やがて長岳寺山門。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては有料の箇所があります。

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。

企画・発行=近畿日本鉄道(株)
制作・印刷=(株)アド近鉄
イラストマップ=鈴木卓人
※無断転写禁止。



このコース地図は2016年11月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
このコースのお問い合わせ=近鉄大和ハイキング係 ☎(06)6775-3666

ハイキングのエチケット
*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

きれいな思い出 きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

- 大阪難波駅から天理駅まで約1時間(大和西大寺駅のりかえ)
- 大阪上本町駅から桜井駅まで約40分
- 京都駅から天理駅まで約55分
- 近鉄名古屋駅から桜井駅まで約2時間5分(名張駅まで特急利用、名張駅のりかえ)
- バス 天理駅・桜井駅から柳本まで約15分
- バス時刻のお問い合わせ 奈良交通お客様サービスセンター ☎(0742)20-3100

●約10キロ〔柳本バス停~龍王山古墳群~龍王山~長岳寺~柳本バス停〕

龍王山展望コース



新たな特典など、さらに充実!
近鉄 **あみま倶楽部** 会員募集中!
(年会費1,000円)
詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。